



前進座 85周年 特別公演

東日本大震災・復興支援五周年企画

ひろがれ協同 咲かそう地域

新潟医療生活協同組合

木戸病院開院40周年企画

新田次郎 原作 田島栄 脚色 十島英明 演出

怒る富士

いかる

ふじ

黄金の稲穂のかなたに
仰ぎ見る 富士の姿は
どんなにか 美しかろう……



伊奈半左衛門
嵐圭史

後援 日本協同組合連絡協議会
日本医療福祉生活協同組合連合会

2016年7月11日(月) 会場 新潟県民会館 大ホール

開演 ①昼の部 14:00~ ②夜の部 18:30~(開場各30分前)

ご観劇料金 1階自由席 6,500円 2階自由席 5,500円 中学生以下 3,000円

主催 「怒る富士」上演を成功させる100人委員会 新潟医療生活協同組合 (社) 亀田郷芦沼会

後援 亀田郷土地改良区地域センター 新潟県生活協同組合連合会 白根保健生活協同組合

お問い合わせ 新潟医療生活協同組合 地域活動部 tel 025-274-7139 fax 025-273-2073



野口久馬 上滝啓太郎 河野勘右衛門 寺田昌樹 奥村与五右衛門 中嶋宏太郎 折井淡路守 松涛喜八郎 間部越前守 河原崎國太郎 大久保加賀守 益城宏 永田茂左衛門 山崎辰三郎 能勢権兵衛 藤川矢之輔 萩原近江守 武井茂 中山出雲守 津田恵一 伊奈半左衛門 嵐圭史



新井白石 志村智雄 富三郎 松浦海之介 おまつ 今井鞠子 つる 平澤愛 こと 上沢美咲 おせん 江林智施 おはる 小林祥子 緑子 妻倉和子 おそめ 前園恵子 文吉 新村宗二郎 佐太郎 藤井偉策

怒る富士

これは、時の幕府の棄民・政策に喘ぐ富士山麓・五十九ヶ村の農民たちと、彼らを守ろうとその復興に命を賭した関東郡代・伊奈半左衛門との、真実のものがたりである。

- 【メインスタッフ】
- ◆原作——新田次郎
 - ◆脚色——田島 栄
 - ◆演出——十島英明
 - ◆美術——品川洋一
 - ◆照明——寺田義雄
 - ◆音楽——菅野光亮
 - ◆効果——田村 恵
 - ◆振付——藤間多寿



【あらすじ】

五代將軍綱吉の世。宝永4(1707)年11月23日(旧暦)、富士が火を噴いた。山麓の村々は焼け砂に埋まり、田畑は壊滅したのである。幕府は急遽、関東郡代・伊奈半左衛門に被災地代官を命じた。だが、幕閣たちは醜い派閥抗争に明け暮れていた。

ある日、半左衛門の陣屋に深沢村の若者・佐太郎、ことら4人が訪れた。「食する物は何もなく、鳥さえも去っていった……」彼らは命がけで村の窮状を訴えたのであった。

半左衛門は被災地に急行し農民を励ます。「お上は決して民を見捨てはしない——」と。だが幕府の裁定は亡所であった。村々では飢えに倒れる者や故郷を捨てる者が相次ぐ。

將軍が代わり実権は柳沢吉保から間部越前守に移るが、誰一人として富士山麓に目を向けようとはしなかった。半左衛門は己の命を懸けて公儀に異を唱える決心をする。そして、その義心に心動かされた駿府代官・能勢権兵衛は……